

キッズみんなの日記

5月号

★自分の思いを伝える★

高尾山

楽しかったゴールデンウィークも終わり、学校では、多くの学校で運動会の練習や新たな学年での学習が本格的にスタートします。学校行事、クラブ活動、習い事、梨ゼミ、どれも精一杯取り組み、楽しめる梨ゼミ生であってほしいと思います。

日常のありふれた出来事も、印象に残った場面だけを上手に切り取って日記を書いてみましょう。五感を働かせ、擬態語、擬声語、セリフ、たとえなどを使うとより効果的です。優秀作品や先生からのコメントを参考にステップアップしていきましょう。

優秀作品紹介

★日常の「コマ」を生き生きと★

スライム

がくどうで、スライムをつくりました。

さいしよは、すぐくベトベトで手がベトベトとなりました。



しっぱいかとおもったら、カップに入れない、といわれて、カップに入れてみたら、かわいてきてベトベトだったスライムが、かわいてきたから、ポヨンとはねて、おもしろかったです。あおいろのスライムをつくりました。

(小二・TY君)

「ベトベト」や「ポヨン」などの擬態語を使ってスライムの状態を上手に表現しましたね。Y君が楽しく工作する様子が目に浮かびます。

わたしは、お母さんとお父さんと三人で高尾山に登りに行きました。

はじめに、リフトにのりました。リフトはと中までのって、ちよう上まで自分の足で登りました。リフトは二人のりで、お母さんとのりました。お父さんは一人でのりました。リフトをおりる時は、こわかったです。

ちよう上まで登るのにお母さんとお父さんがおそいので、わたしは先に行ってしまった。わたしが歩いていると中に後ろをふりかえっても、お母さんとお父さんがいなくなっていたので、もどってみると、お母さんとお父さんがいたのでよかったです。

ちよう上についていたら、きれいな景色が見られたので、ちよう上まで登ったかいたが思ったと思いました。下りは上りよりすぐつかれました。下りもリフトにのりました。下りのリフトは、お父さんとのりました。

次は、リフトにのらずに、全部自分の足で歩きたいです。

(小三・WYさん)



高尾山を意気揚々と登るYちゃんの姿が目につかぶようです。頂上で見る景色は絶景だったことですね。Yちゃんの次回目標で締めくくった最後の一文も印象的です。

ハワイアンズ

わたしは、ハワイアンズで二日おとま

りました。そのときに、ともだちのMちゃんといっしょに行きました。

バスと電車で東京えきまで行きました。えきでおりて、ハワイアンズのバスすのりばへ行って、バスにのって十分ぐらいすわっていたら、はっしゃしました。はっしゃしたら、わたしは、すぐねてしまいました。なぜかという

と、朝五時におきたからです。おきると、きゆうけい時間でした、だから、いちおうトイレに行っておきました。それから、トンネルを二十回くらいとおりました。しばらくすると、ハワイアンズにつきました。

三時間もかかりました、くたびれてふらふらしてしまいました、でも、ついてうれしかったです。

さっそく、へやに入って少しきゅうけいしました。それから、プールに行くと、スパイダーブルーというすべり台をすべりました。でも、すぐに夜になってしまいました。それで、へやにもどってねました。

つぎのあさ、たべほうだいといっぱい食べました。それから、プールでおよぎました。およぎおわったら、へやにもどって、うきわをおいておんせんに行きました。それから、ショーも見ました。

次の日、おみやげを買って帰りました。

(小三・MMさん)



福島までの遠さを、トンネルの数で表現しているところがうまいですね。おいしいごはん、プール、温泉、ショーとMちゃんが家族と楽しい休日を通じたことが伝わってきます。

学童のお別れ会

今日は、学童のおわかれ会でした。

「三年生は前に出てきてください。」と言われました。そして、最初に下級生からお礼の言葉をもらいました。

その次に、三年生が一人ひとりあいさつをしました。私は、

「三年間、ありがとうございました。勉強などががんばってください。」と言いました。すると、私の友達が、

「あと、先生におかれなくてね、こわいから。」

と言っていました。

それで、先生にプレゼントをもらっておしまいでした。

家に帰って、アルバムを見てみると、三年間いろいろなことがあったなあ、と思いました。

(小四・MRさん)



セリフを効果的に使い、学童のアットホームな雰囲気を上手に表現していますね。家に帰ってから、Rちゃんがしみじみとアルバムを開く様子から、学童への思いが伝わってきます。

お花見

ぼくは、お花見に行ったことがありません。なぜかというと、家の前の高塚団地に大きな桜の木がたくさんあるからです。

桜がさいているのをリビングのまど

から見る事ができるから、外に行かなくても、お花見に行った気分です。



大人になったら、上の公園にお花見に行ってみみたいです。

(小四・MR君)

自宅のリビングでお花見ができるなんて、贅沢ですね。季節感のある題材選びで上手に書き広げています。無駄のないすっきりとした段落構成もR君のスマートさを感じさせます。お見事！

★☆☆出来事や気持ちを よの細やかに伝える☆☆★

五年生になった

四月一日に、五年生になりました。その前の日は、五年生になるのがすごくドキドキしました。

そして、五年生になった目標は、一、勉強も委員会もクラブもがんばること

二、じゅくでもがんばることと決めました。今年は目標を一年間がんばりたいです。

(小五・TY君)



進級前の「緊張」と進級後の「決意」が印象的な日記です。Y君、高学年として、立派な目標をたてましたね。目標が達成できるように応援しています。Y君ならできる！頑張れ！

新しいクラス

今日、始業式があって、新しいクラスが発表されました。

私のクラスは五年四組でした。四年生の時仲よかった子といっしょにな

れたので、うれしかったです。

先生は、前に二年生を受け持っていた先生でした。少しドキドキしたけれど、いいクラスでよかったです。

(小五・ARさん)

友達も先生も変わる今年、Rちゃんにとって、期待と不安の入り混じる進級だったことでしょうね。「緊張」↓「安堵」と気持ちの変化を上手に表現しています。素敵なクラスになりそうな予感ですね。

お花見

今日は、お父さんとお母さんと真間川の桜を見に行きました。

だったので、大柏川ぞいの桜も見えました。川をのぞいたら、桜の花びらがたくさん流れていました。ぼくは、あまりちつているとは思わなかったけど、お父さんやお母さん



「ずいぶん、ちつているな。」と言っていました。

ぼくは、真間川についていたら、お店でいろんな物を買うのが楽しかったけど、お店の数が去年よりすくなかったのがっかりしました。だけど、写真をとってもらったりやきとりを食べたりしたので、楽しかったです。

そして、帰ろうとしたとき、お父さんの自転車パンクしたので、と中でお父さんをおいて先に帰りました。大変だったけど、来年もまた行きたいです。

(小五・SH君)

大柏川に散った桜の花びらも風流でしうね。昨年のお花見と比較し、時間的な広がりや、感想を活き活きと表現しています。H君、お父さんおいて帰ってしまっただの！お父さん、災難でしたね…。

とても不安な委員会

私は今、とても不安です。今、私は三の三の教室にいます。教室のトビラが開き、三年生は教室から出ていき、私たち五、六年生は入ります。今日は、六年生になって初めての委員会です。私は、栽培委員で、親友とはなれてしまっても不安でした。

「では、委員長を決めます。」と先生が言いました。私は、不安でいっぱい、手も挙げられない状態。私は、なんとか委員長の枠から逃げ出せました。

「では、外に行きましょう。」と先生が言いました。外では、花に水やりをすると言われました。

私は、この時から、気持ちちははれればれとしてきました。気持ちちははれれば表すと雨のち晴れのような感じでした。

私は友達と水やりするのが、だんだん楽しくなり、親友がいなくても、他の友達とのふれあいの中で委員会が楽しくなっていくのかなと実感しました。

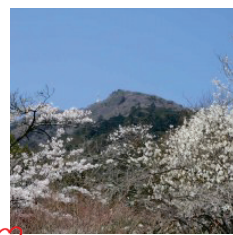
(小六・YNさん)

親友と離れ、委員会初日を迎えたNちゃん、緊張と不安がこちらにまで伝わってきます。「緊張」↓「安堵」↓「楽しさ」という気持ちの変化を天気に例えたところも上手ですね。新しい友達の輪が広がりますね！

お花見でつくば山に行った

わたしは、四月二日にお花見でつくば山に行きました。

最初にお花見へ行きました。今の季節がちょうどいいので、きれいな桜が咲いていて、とてもきれいでした。やぎもいて、草をあげました。草がベトベトしていて、気持ち悪かったです。



少しいるいて、と、きれいな菜の花が咲いていて、とても美しかったです。一枚だけ写真を撮りました。すてきな写真を撮れてよかったです。

次は、つくば山へ行きました。スカイツリーより大きいつくば山だそうです。少し車で行ったけど、次には、ロープウェイに乗りました。すごく高くて、怖かったです。山を登ったり下ったりするのがすごくつかれました。すごく楽しかったです。

(小六・MYさん)

つくば山の美しい春の景色が読み手にも容易に想像できますね。つくば山の高さをスカイツリーと比べることでわかりやすく説明しているところも上手に書きました！

「キッスみんなの日記」に関する意見・ご感想は、info@kikohdai.com 編集担当▼市澤まで、どしどしお寄せください。皆様のご意見を参考に、より良い紙面づくりに努めて参ります。